子どもと結ぶ　絵本を　VOL.32

シリーズⅣ

『モモ先生のお話読むよ～♪』

山本智子
（大東市立四条北小）

みんないっしょに大笑い

いよいよドキドキの4月ですね！先生も子どもも、期待と不安で緊張するこの時期。そんなみんなの緊張を解きほぐす一番の方法は、なんといってもみんなで一緒に大笑いすることだと思います。そんな時期に、みんなで笑えるぴったりの絵本を紹介します。

ぴっけやまのおならくらべ

かさいまり　作　村上康成　絵
ひさかたチャイルド／チャイルド本社

ぴっけやまに住む動物たちは、「くらべっこ」が大好き。毎日いろんなくらべっこあそびをしています。ある日、今日は何くらべをしようかと考え、「おならくらべ」をすることが決まりました。音がきれいなことを自慢するツル。音の大きさを自慢するクマ。おならのくささを自慢するイタチ。動物たちが出すおならの色と音は、なんだか本当に絵本からにおいがしてきそう…チャンピオンはもちろんぴっけやま。そして、体の一番ちいさいねずみ君はおならをだすために考えた必殺技で、大変なことになってしまいます…

ページをめくるたび、おならの音を聴いただけで、子どもたちは大喜び。低学年も高学年も、最後の1ページまで笑えます。この絵本でみんなの緊張がとけますように。

☆絵本プレゼント

ハガキかEメールで「絵本『ぴっけやまのおならくらべ』希望」と書いて、5月10日までに応募してください。絵本「番ねずみのヤカちゃん」は、小谷淳子さん（堺・宮山台中）が当選されました。

山本　智子さん

大東市立四条北小学校に勤務。絵本との出会いは教師になる前、わが子の子育てのなかで。“おおかみモノ”が大好きで、かたっぱしから集めています。教室の子どもたちはモモ先生の読み聞かせが大好きです。

実践にすぐ役立つ

先輩のアイデア ⑳

何森　真人（岸和田市立春木小）

～透明な部分をいかすとステキです～

ガラスの小物入れのつくりかた

カット　荒木　智子（岸和田市立山直北小）

核兵器のない世界を ③

署名100筆にチャレンジ中

土橋　浩輔さん
（吹田・千里第一小学校）

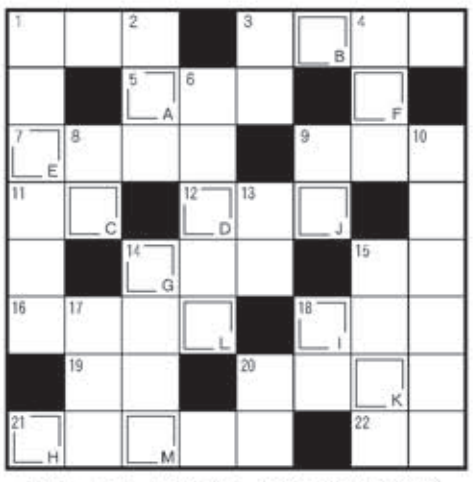
カンパ活動にご協力ください

「何のためにニューヨークへ行くのか」「自分に何ができるのか」…いろいろ悩みながら勉強しています。そのなかでいろんなことが見えてきました。オバマ米大統領が1年前、「核兵器のない世界」を世界に呼びかけるなど、核兵器をめぐる情勢は大きく前向きになっています。しかし他方でオバマさんは、世界に「脅威」がある限り、アメリカは核戦力を維持すると発言するなど、本気で核兵器を廃絶する姿勢がみられません。日本の政府もアメリカいいなりで、唯一の被爆国としての責任を果たす立場がありません。

自分にできることは…それは「核兵器はいらない」の声を、日本で世界で広げていくこと。署名100筆は自分の最低限の目標です。職場や友だちに広げていきたいと思います。英語も少し勉強中で、いろんな人との出合いも楽しみにしています。

大阪教育クロスワード

多数のご応募まっています



出題　林　禎久さん（泉佐野・佐野中）

A～Mまでの文字をつないで言葉をつくってください。ハガキ（題字横に宛先記載）またはEメール（madoe@daikyoso.jp）に解答・氏名・住所・職場名を書いて、5月10日までに大教組情宣部まで送ってください。

紙面の感想や職場のできごと、近況などもお聞かせください。正解者の中から10人に大教済のクオ・カードを進呈します。

〈タテのかぎ〉
①パソコンの大切なデータは…を　②鶏の頭　③気合いを入れる　④S字のように　⑥演奏会　⑧正門と…門　⑨最後を飾る　⑩移設でなく廃止せよ　⑬○○重、○○敬　⑭議論を闘わせる　⑮強者が弱者の立場や自由を脅かすこと　⑰一覧表、名簿　⑱灰汁　⑳壬申、承久、応仁

〈ヨコのかぎ〉
①エストニア出身の新大関　③新しい仲間との対話で組織…を　⑤首の下にポッコリと出た骨　⑦何もない場所や広がり　⑨木綿と絹ごし　⑪欠点や短所。…さがし　⑫皺。星座もある　⑭返済に苦しむ　⑮○○栄、○○華街　⑯印刷物　⑱デビル　⑲衣服の端　⑳机やノートによく書いたものです　㉑2辺が等しい…三角形　㉒ポジション

2月10日号の正解は「つながりいっぱい青年フェスタ」。応募は122通、当選者は次の10人です。野村明信（高槻・玉川小）、中川英次（枚方・第四中）、利島智子（八尾・曙川南中）、吉村かおる（岸和田・新条小）、多田えりこ（藤井寺・北小）、沢田晋也（堺・登美丘東小）、北野充（大阪市・玉出中）、村上仁志（府高・佐野工科高）、野村恵一（府障・東大阪支援）、藤原栄一（私学・追手門学院高）

大阪教育文化センター

第20回共同研究集会

○日時　4月18日（日）　午前10時～
○場所　大阪府教育会館（たかつガーデン）3F　ローズ

講演：折出健二さん（愛知教育大学）
「公教育の再構築―国民の教育要求を土台にすえて―」

報告：小林　優さん（大教組書記長）「大阪の教育情勢と当面の課題」
横山政夫さん（元茨木市立西陵中学校）
第3回「大阪子ども調査」から見える「子どもたちは今」

情宣部の窓

✉青年フェスタの記事を読みました。若い人たちの活動を知りエールをおくりたいです。私は月1回組合の仲間たちと近くの山登りを楽しんでいます。どんな形にしろ仲間とつながることはすばらしいことです。（河内長野・南花台西小　岡田千賀子）✉安上がりの教育推進の記事を読んで、全く同感です。病気や介護で休む人が出ても代替がない。日常の教育活動さえまともに保障できない異常な事態に陥っているということが、どの職場でもおこっていることがよくわかりました。（岸和田市・野村中　中内昌恵）✉来年度も生徒数が増え、また特別教室が普通教室に転用される。入学さえさせればよいのか。障がいのある子どもたちの教育条件は年々悪化している。一方では何十台ものパソコンやテレビが、大手電機メーカーの在庫処分のつもりか配られる。もっと有効に税金をつかってもらいたい。（府障・東大阪支援　野村恵一）